

CAR No.34&35&36

スーパーFJ

アルビレックス・レーシング・チーム

PRESS RELEASE

Beyond

2012/ 8/26



スーパーFJ 東北シリーズ 第 3 戦

8月26日(日) 予選・決勝

仙台ハイランドレースウェイ

1 LAP=4.063km 出走：6台

天候：晴れ コース：ドライ 気温：31℃ 湿度：41% 路温：53℃

ドライバー：小村方 喜章 (アルビ RT GIA EDKKS #34)

栗村 和 (アルビ RT・ビヨンド ED アソー #35)

佐藤 祐希 (アルビ RT ED 玉三郎 RD10V #36)

予選結果：佐藤選手 3位 栗村選手 5位 小村方選手 6位

決勝結果：佐藤選手 4位 栗村選手 5位 小村方選手 6位

■8月26日(日) 予選

11時35分予選開始。上位3台が次々と速いタイムを出していく中、佐藤選手は5周目に自身のそれまでのベストタイムを1秒削って3番手タイムをマーク。そのまま予選は終了し、佐藤選手にとって自己最高となる3番グリッドより決勝レースを迎えることとなった。一方の栗村、小村方両選手はなかなかタイムを伸ばせず、5番手、6番手に沈む。

■8月26日(日) 決勝

14時21分決勝レーススタート。決勝は各選手とも無難にスタートを決める。3番手スタートの佐藤選手の後ろには4番手がピッタリとマークし、隙をうかがう。オープニングラップでホームストレートに帰ってきたところで後ろにピッタリ張り付かれ、2周目に入った1コーナーで2台が並ぶ。佐藤選手は簡単には抜かれまいと奮闘し、そのまま2コーナーに差し掛かる。しかしここで佐藤選手が痛恨のシフトミス。これにより4番手に後退してし

まう。

その後しばらくは、やや離されながらも必死に食らいつき周回を重ねていく佐藤選手だったが、7周目から差が広がり始め、車体2台分ほど離されてしまう。

しかし9周目、レース中に自身のベストタイムをマークして差を詰めると、スプーンで一気に勝負をしかける。3番手のインを差し、車体半分ほどがインに入ったが、結局追い抜くには及ばず。その後も3番手にプレッシャーをかけ続けるも、3番手よりコンマ7秒遅れて4位フィニッシュとなった。

一方の栗村選手、小村方選手は順調にラップを消化し、予選と変わらずそれぞれ5位、6位でゴールした。

○小村方選手コメント

今回は6位という結果でしたが、まだまだ上位とはタイム差があるので、この差を少しでも縮められるようたくさん練習して、良い結果につなげていきたいです。

○栗村選手コメント

練習等でアドバイスして頂いたり教えて頂いたりしたことが思うようにできませんでした。言われたことを1つずつしっかりできるようにして、自分自身レベルアップしていきたいです。

○佐藤選手コメント

予選で3番手をマークし、表彰台も狙っていたので、今回の結果は残念でした。レース中のタイムはいい感じなので、次はしっかりとパスできるようにしていきたいです。

○中村監督コメント

とれるチャンスを取りこぼしたのは非常に残念です。しかし、タイム的には出ているので次回につながる内容となりました。引き続き努力致しますのでご声援の程よろしくお願い致します。





P PLUS  Nankai Plan Co.,Ltd.
 鈴木会計  <http://www.tkcnf.com/sds>
MID Japan Inc.
 Mitsui Impress Development



・ Zip Auto ・ KAISHIN AUTO ・ 榎本自動車整備工場 ・ 山田モーター ・ 東栄ボディー